

ぶじりんご市とかりんごの名前が市の名前になっている。(ざっぼんざぼんどらやき 3年)

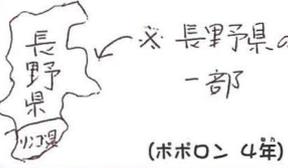
こども記者のみなさんに取材を呼び掛けた全国48番目の都道府県「りんご県」と県知事なーのちゃんの情報がこども新聞編集局にたくさん届きました。きょう(3月31日)の信毎こども新聞にも載ってるよ。エープリルフールに合わせた特別企画です。

とく産品はやっばりんご! 住民は洋服からつくからつくから...すべてりんご!(Harika 4年)

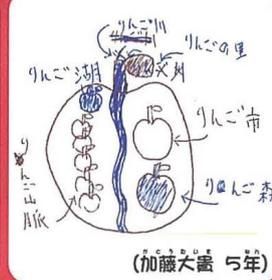


こども記者はみた?!

りんご県はりんごの形。(しみずじゅんせい 4年) (あ~5年) (いんご真っ子 5年) (井上正壁 6年)



りんご県 場所はここだ?!



こども記者を県民にして、こども記者でりんご県の会議を行ったりして「みんなで作るりんご県」を目標にやってみたいです。(望の兄 4年)

4月1日はリンゴデーなどリンゴデーをつくれたほうがいいと思います。(Harika 4年)

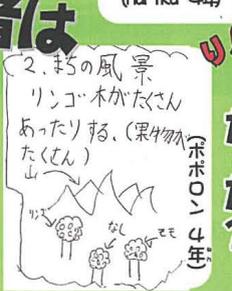
- 一日2個はりんごを食べる。●りんごを捨てたらばっ金。
- 一家に一本りんごの木がなければいけない。(加藤大暁 5年)
- 必ず家にりんごがないといけな!
- りんごの木を大切にす! (あ~5年)
- みんなが仲良くくらす。助け合う。(ポポロン 4年)
- 県民は毎食1個りんごを食べないといけな。(はるぼう 5年)
- りんごを毎日食べる。(しみずじゅんせい 4年)

●なーのちゃんにお料理をおしえてもらいたい。●記者の人たちと仲良くなる。(ポポロン 4年)

りんご県 ほういつせいいてい?!

<心理テスト> えらんだリンゴの色で心の色がわかります。①赤いリンゴ ②黄色いリンゴ ③黒いリンゴ ***** ①明るい元気な子 ②光かがやく人 ③おとなしい人 (守屋つむぎ 2年)

りんご県の知事が家に来た。そして、かばんの中をガサゴソ探してなにが出てくるかと思えば、なんとりんご! そして...「これはだたのりんごではないんです。これを差し出すれっきとした理由もあります。もうお分かりでしょう。そう、これはりんご県の県民の証しなんです」と言っているのを見てしまった。聞いてしまった。そしていまもそのりんごは手元にある。(柳沢皇奈 5年)



- りんご県の人は赤い服やりんごのぬくたいをしている。
- おひなさまは、りんごに顔をかいたもの。
- フォト×俳句にはりんごにまつわる句とりんごの写真。
- おみやげは、りんごジュース、あつぷるパイ、りんごサブレ。
- どうぶつはみんな「りんりん」となく(りんご県だけ)。
- りんごの木をなーのちゃんがつうえ、りんごの木でいっぱいにしてうとしている。(いんりん 3年)



- マークがりんごの形。
- お店のドアがりんご形になっている。
- りんごの料理をつくる。
- りんごのバッチをつけている。(井上正壁 6年)

- 筆にはりんごが書かれていて、中にはりんごの形をしたバックミラーがある。
- バスガイドのはたは、りんごがかかっている。
- りんごはどの県にもまけない。
- りんごの店が多い。(河井雄西 3年)

りんご県のすべてが今、明らかに?!



な~の知事 みつけた!!

りんご県には「りんご祭」がある! 今年を締めくくると、りんご県はりんご祭の日! りんご祭がある日は一日りんごのかわりものをかぶること! りんごをくりぬいて型形にしたりんごを中に入れ、それを川に流す。その川の水はすくくきいので、流したりんご食べてもだいじょうぶ! 最初から最後まで流れたら「福」に出る! ついてはるので食べるなら、キーになる! りんごは、たのは悪い物なので、川で流して、毎日毎日流すから食べることはない!

●りんごの単でりんごの木を植えていた。●りんご川でおよいでいた。●りんご市でりんごを売っていた。(加藤大暁 5年)

もし 記者じゃなかったら ~子どものころの夢は... あこがれの北野広夫先生 「北野広夫先生」という、みんなのお父さんやお母さんか、もっと上の年の人にとっても知られている小学校の先生がいます。私が仕事などで大変なことがあった時、北野先生だったらどう頑張るんだろうと思いつかせる、あこがれの人です。北野先生は実際にいる人ではありません。私が小学生だった30年祭りに大ヒットしたテレビドラマの主人公です。新米の北野先生は失敗もたくさんあります。でも、へこたれそうになっても立ち上がり、全力で困難にぶつかっていきます。「くじけない男」、そして子どもたちの「ヒーロー」なのです。私は小学生の時からかなり長い間、先生になりたいと思っていました。北野先生の影響もあるし、教わった先生たちが私にとって本当にいい先生だったから。低学年の時の先生は自立タイプではなかった気がします。勉強が分からない子にもとても粘り強く教えてくれました。それを私は覚えていなかったのですが、大人になって親から「なんとか大きくなれたのも先生のおかげ。親の中には

地域活動部記者 信毎こども新聞デスク 土橋正道(記者22年目) 北野広夫 授業が進まなくてヤキモキしていた人もいたと思うけれど」と言われました。高学年の時の担任は若い熱血先生。北野先生に似ていたかもしれません。大学に進む時、まだ先生の夢もありましたが、中学の時に釣りにハマった勢いそのまま、「淡水魚の養殖がしたい」と水産学部に入學しました。大学4年になって、故郷の長野県にどんな企業があるか調べたら、信濃毎日新聞社があって、いろいろな人と話ができる仕事もいいなあと受験して、新聞記者になりました。取材の時などに一生懸命な人に会うと、ドラマの中の人だったはずの北野先生に本当に出会えた気がして、自分も北野先生みたいな人になりたいなあとあらためて思うのです。 ※4月1日付で地域活動部から軽井沢支局に異動します。今までありがとう。